

2024年度第2回学習会のご案内

日時 2025年2月22日(土)午後2～4時(予定：延長の可能性あります)

場所 オンライン (Zoom) [ID 868 9604 7627 / コード 395156]

講師 西浦昭英 (日本キリスト教会沖縄伝道所会員、全国キリスト教学校人権教育研究協議会運営委員)

元聖学院中学・高等学校数学教師。2019年に退職し名護市に移住、平和ガイドを務める。並行して、新辺野古基地建設反対のための土砂搬出元の安和塩川の抗議行動・海上行動に参加している。

講演「新しい局面を迎えた沖縄問題」

- 1 「沖縄の歴史と現況……〈本土〉の無知と差別」
- 2 「基地建設に対する非暴力の抗議と抵抗の日々」
- 3 「戦争と基地の存在を聖書信仰でどう解釈するか」

講師から

勤務先の聖学院高校は、平和学習としての沖縄修学旅行を実践し、私は1992年に、初めて沖縄に足を運びました。強い衝撃を受け、深い学びを経験しました。その後、毎年教会やミッションスクールの教職員らと「沖縄平和の旅」を実施する中で、第二の人生として、修学旅行でお世話になった基地や戦跡を案内する「平和ガイド」のお手伝いをしたいと考えました。2019年に60歳で退職し、辺野古新基地建設の埋め立て工事が始まったこともあり、しばらくは名護に住むことにしました。辺野古の抗議船の船長見習いとして、海上行動のお手伝いもしましたが、最近は、土砂の搬出元である安和や塩川に、ほぼ毎日出かけています。

日本全体の沖縄が占める割合は、人口では1.2%、面積では0.6%でしかありません。その沖縄に、70%の米軍基地があるのは、「本土」の無知と差別であることを、沖縄に移住する中で痛感しており、その具体的事例を紹介したいと思います。また、基地建設に非暴力で抗議・抵抗している人々の日々の活動を紹介したいと思います。さらには、戦争と基地の存在を聖書信仰でどう解釈すればよいのかという問題は、私からも提起をしますが、参加者と一緒に考えていきたいと思っています。

委員会から

講師から、参考文献として踊共二(おどり ともじ)『非暴力主義の誕生—武器を捨てた宗教改革』(岩波新書、2025年)をお勧めいただきました。Kindle版もありますのでご紹介いたします。

終了時刻が午後4時を過ぎる可能性があります。ご都合に合わせてご退出ください。

日本キリスト教会大会「人権ニュース」(2021年8月)掲載の「米軍新基地建設への抗議活動」のための支援金受付口座を再掲します。〔沖縄銀行坂田支店 店番208 口座番号 1509605 口座名 日本キリスト教会辺野古基地反対運動〕

- ・Zoomリンクは以下の通りです。トラブル等ありましたら担当委員(090-7728-2365)まで <https://us06web.zoom.us/j/86896047627?pwd=gztC8SYMY1XP7SFcxzo5QRg4GCEyTx.1> (ミーティング ID:868 9604 7627 パスコード:395156) [IDとパスワードで入室できます]